

②英語科の指導案

京都大学 教育課程論Ⅱ

2013年10月23日 西岡加名恵

(京都府立園部高等学校 竹村有紀子先生、2011年11月25日)

教科名 (科目名)		英語科 (総合英語)	学校名	園部高等学校
単元名 (学習指導要領)		『Lesson 3 Abu Simbel —Rebirth on the Nile—』 教科書掲載の世界遺産アブシンベル神殿に関する英文を読み、学習した表現を活用して、自分が選んだ世界遺産について、その世界遺産の名前や場所や特徴などを、自作のポスターを提示しながら聞き手に分かりやすいように発表する。(12時間) 教材：CROWN English Course I (SANSEIDO)		
対象クラス		京都国際科1年生		
実施時期		2学期後半		
1	生徒観・補足	京都国際科1年生。クラス内の学力には差はあるが、全体的に学習意欲は十分高く、授業や課題に前向きに取り組むことができるクラスである。もともと英語への関心が高い生徒が多く、英文を音読したり聞きとったりする活動に積極的に取り組むことができる。自分の意見を表現したり発表しようという意欲も高いが、一方で文法に苦手意識があるため、課題によっては自信が持てず消極的になってしまう生徒も少なくない。文法事項の習熟度を上げ、文構造を丁寧に確認して読解する力をつけるための授業や課題を提供しながら、苦手意識を持っている生徒も自分の力を磨き達成感を得られ、得意な生徒がさらに能力を伸ばせるような発表や活動させる場を設定するに心がけている。週5時間授業。1クラス19名で、現在アメリカコロラド州からの交換留学生1名も授業に参加している。		
2	このクラスの学年末到達目標 (Sonobe Assessment Grid Level 4)			
	読むこと	聴くこと	書くこと	話すこと
	複文構造を理解し、前から読み進めることができる。物語文をどんどん読める。評論文の論旨の展開が理解できる。英字新聞などを辞書があれば読める。	学習したテーマに関する短い、簡単なニュース、メッセージがゆっくりはっきり読まれた時、ニュースのメインポイントを聴き取ることができる。	文をいくつか効果的に組み合わせて自分の経験、将来の夢等について述べることができる。	興味のある幅広い分野に関して、理由や説明文などを加えて、意見や感想を書くことができる。
3	単元名： CROWN English Series I Lesson 3 Abu Simbel —Rebirth on the Nile—			
4	単元設定の理由：20世紀初頭、エジプトは近代化を進めていた。その中でナイル川へのダム建設案が持ち上がった際に政府は「文明の発展を優先するか、文化の保護を優先するか」という選択を迫られた。この問題を扱った本文を読み、生徒たちに人類の発展と環境について考えさせたい。また、この問題が人類の智恵と国際協力によって、文明も文化も犠牲にせず解決された点から、広い視野を持って学び協力することの大切さも感じ取らせたい。本文に関しては難解な単語を含むが、読解を通じて一定レベルの語彙を習得させ、発表で物の特徴や位置関係や物事の経緯を表す表現を自由に活用できる力をつけさせたい。			
5	単元目標	エジプトの世界遺産アブシンベル神殿と周辺住民とナイル川の関わりについての話を読み、人類の発展と環境の望ましい関係を考える。また、本文学習する表現を活用しながら、実在する物の特徴や現在に至るまでの経緯を調べて英語で説明文を作成し、聞き手に伝わりやすいように伝える。		
	重点目標	下位目標 (知識・理解)		
	<本質的な問い>事物の特徴や位置関係を具体的に説明し、事物の目的を文や句で的確に述べるためにはどのような表現を用いればよいか。 <永続的理解>具体的な数字と共に用いる形容詞の用法の習得と位置関係を表す前置詞のイメージを膨らませて理解し活用することが大切。また文章や句で目的を表す表現を習得することが必要である。	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞や…longや…tallや…above等の表現を使って具体的なものの特徴を英語で表現できる。 so that(～するために), in order to等の表現を使って、事物の目的や経緯を英語で表現できる。 		
	評価の方法	<p>パフォーマンス評価</p> <p>「あなたはSNB Travel(株)の新入社員です。4月の入社から様々な研修を重ねてきた今、新入社員全員に約半年の成果を発表する機会が設けられることになりました。内容は以下の通り。世界に数ある世界遺産の中から最も魅力的だと自分が思うものを1つ選びだし、①具体的特徴、②見どころやおすすめプラン(おすすめする理由)等を含む内容を150語(約1分30秒)の長さの英文で発表してください。SNB Travel(株)を世界中の人に利用される会社に育てられる、若きリーダーの出現を期待しています。</p> <p>その他の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 各パート毎に行う音読テスト 意味を理解して聞かなければ覚えられない程度の長めに区切られた本文を聞き、何も見ずに英文をリピートできるかどうかを問う。 各パート毎に行う筆記テスト 単語10語のディクテーションと意味、本文1文のディクテーションとその訳、その構文を含む英作文1題(教員が考える日本語を英語にする) 		

6 単元計画		
	指導内容	生徒の活動
第一時間目 11/9	Lesson3(1) 導入、シャドウイング・リピート読み 構造分析と読み取り 毎日課題の返却と解説	世界遺産の写真を見ながら、世界遺産に関する教員の英語の質問に答える。Section1の本文CDのシャドウイングを行う。本文音読後ペア毎に構造分析と和訳の確認と発表、内容理解。毎日課題音読、内容確認。不明点は質問する。
第二時間目 11/10	Lesson3(1) シャドウイング・リピート読み 構造分析と読み取り 音読練習(長い区切りで英語→英語復唱) 音読練習(日本語→英語) 教員がチェック 本文単語、熟語、和訳、表現に関する英作文の筆記テスト	Section1本文CDのシャドウイングを行う。前時より内容理解が進んだ分上達していることを実感する。本文音読後ペア単位で構造分析と和訳の確認をして、その後全体で内容理解。音読練習を行い英文を内在化させ、教員による音読チェックを受ける。最後に筆記テストで、話す聞く読む書く四領域における自身の習熟度を確認自覚する。
第三時間目 11/14①	Lesson3(2) 導入、シャドウイング・リピート読み 構造分析と読み取り 毎日課題の返却と解説	Section2で読み取るべきポイント(トピックセンシスに関する問い)を予め与えてから本文CDのシャドウイングを行う。本文音読後ペア毎に構造分析と和訳の確認と発表、内容理解。毎日課題音読、内容確認。不明点は質問する。
第四時間目 11/14⑤	Lesson3(2) シャドウイング・リピート読み 構造分析と読み取り 音読練習(長い区切りで英語→英語復唱) 音読練習(日本語→英語) 教員がチェック	Section2本文CDのシャドウイングを行う。前時より上達しているかどうか意識する。本文音読後ペア単位で構造分析と和訳の確認をして、その後全体で内容理解。音読練習を行い英文を内在化させる。教員による音読チェックを行う。
第五時間目 11/15	Lesson3(2) 音読練習本文単語、熟語、和訳、表現に関する英作文の筆記テスト パフォーマンス課題指示	音読練習を行い前時の内容を頭に呼び起こす。教員による音読チェックを行う。最後に筆記テストで、話す聞く読む書く四領域における自身の習熟度を確認自覚する。 パフォーマンス課題のねらいや課題内容、評価基準を知る。
第六時間目 11/16	Lesson3(3) 導入、シャドウイング・リピート読み 構造分析と読み取り 毎日課題の返却と解説	Section3で読み取るべきポイント(トピックセンシスに関する問い)を予め与えてから本文CDのシャドウイングを行う。本文音読後ペア毎に構造分析と和訳の確認と発表、内容理解。毎日課題音読、内容確認。不明点は質問する。
第七時間目 11/17	Lesson3(3) シャドウイング・リピート読み 構造分析と読み取り 音読練習(長い区切りで英語→英語復唱) 音読練習(日本語→英語) 教員がチェック 本文単語、熟語、和訳、表現に関する英作文の筆記テスト	Section3本文CDのシャドウイングを行う。前時より上達しているかどうか意識する。本文音読後ペア単位で構造分析と和訳の確認をして、その後全体で内容理解。音読練習を行い英文を内在化させ、教員による音読チェックを受ける。最後に筆記テストで、話す聞く読む書く四領域における自身の習熟度を確認自覚する。
第八時間目 11/21①	パフォーマンス課題原稿交流 ポスター作製	各自が家庭で作成した原稿を4人1グループになって1作品2分ずつ読んで、配布されたふせんの良い点と改善が見込める点についてコメントを記入してグループメンバーの原稿に張り付け交換し合う。互いの作品を交流することで、より良い作品を作るヒントを得たり意欲を高め合う場とする。ポスター作製を開始する。
第九時間目 11/21⑤	Lesson3(4) 導入・シャドウイング・音読練習 構造分析と読み取り 音読練習(長い区切りで英語→英語復唱)	Section3で読み取るべきポイント(トピックセンシスに関する問い)を予め与えてから本文CDのシャドウイングを行う。本文音読後ペア単位で構造分析と和訳の確認をして、その後全体で内容理解。音読練習を行い英文を内在化させる。教員による音読チェックを行う。
第十時間目 11/22	音読練習(日本語→英語) 教員がチェック 毎日課題の返却と解説	
第11時間目 11/24	パフォーマンス課題交流(最終) ポスター完成・発音確認・発表練習	翌日の発表に向けて、発音や暗唱などの練習をペアワークで行う。互いに良い点と改善点について交流し合う。
第12時間目 11/25	本時の授業	次ページから展開しています

7	<p>本時の目標：発表者は1人約1分30秒間を有効に使い、自分が選んだ世界遺産について、その世界遺産の名前や場所や特徴などを、自作のポスターを提示しながら聞き手に分かりやすいように発表する。また、他の人の発表を聞き、情報を聞きとり知識を広げ、評価する。</p> <p>相互評価をして、後日効果的に伝える方法について振り返り、考えを深める際の材料とする。</p>			
8	<p>本時の展開</p>	<p>指導内容</p>	<p>主な学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>
1		<p>導入：本時の目標を英語で確認する。 (5分)</p>	<p>1 英語の発話をよく聞き、本時の目標を理解する。</p>	<p>1 本時の目標を確認し、活動の主旨を明確にする。発表前に英語の発話を聞くことで、英語を話しやすい雰囲気を作る。</p>
2		<p>発表：1人ずつ順に前に出て発表をさせる。 (順番は前時に決定) (40分)</p>	<p>2 一人1分30秒前後で自分が選んだ世界遺産について発表を行う。発表者はポスターを提示し、原稿を見ずに発表を行う。発表者以外は、発表をよく聞いて評価シートに5段階評価と発表者の良かった点についてのコメントを記入する。</p>	<p>2 スムーズに発表が進むように注意して時間管理と進行を行う。一人発表が終わるごとに、評価シートに記入する時間を設ける。発表者の良かった点を記入させる。</p>
3		<p>コメント：本日の発表についてコメントをする。</p>	<p>3 教員のコメントを聞いて、自分の発表を振り返る。</p>	<p>3 特に良かった表現(教科書表現の活用)や発表態度についてフィードバックをして共有することで、学習と発表に対する意欲や意識を高める。</p>
<p>本時の評価の観点： 表現（内容は充実し、正しい発音で、意欲的な態度で、効果的ポスターを提示し、暗唱できているか） 理解（評価シート記入内容：世界遺産名と特徴に関して情報を聞き取り記入できているか） 関心・意欲（調べた内容に関して伝えたり、発表者の内容を聞き取ったりしようとする意欲があるか）</p>				

上記パフォーマンス課題についてのルーブリック（質的評価指標）

5	<p>◆訪れたい国の名前、場所、具体的特徴、見どころなどが150語程度の英語で自分らしく表現されている。理由や例示が述べられ、興味を引く魅力的な情報を含んでいる。◆意欲的で表現豊かな声が教室の後ろまでよく届き、姿勢や視線にも伝えるための工夫がある。◆ポスターからは名前と場所に加えて魅力的な情報が読み取れ、丁寧に仕上げられている。◆完璧に内容を覚え、自然なスピードで発話されている。【意欲も磨いた能力も十分発揮された発表】</p>
4	<p>◆訪れたい国の名前、場所、具体的特徴、見どころなどが自分なりに表現されている。しかし、表現の豊かさ(興味を引く情報を含むかどうか)や情報量(語数150語程度)にやや不十分な点がある。◆声が教室の後ろまで十分届き、さらに内容を伝えようとする意志が感じられる。しかし、姿勢や視線等を十分に活用できていない。◆ポスターからは名前と場所と魅力的な情報が読み取れる。しかし、見易さや興味を引き付ける工夫において改善の余地あり。◆完璧に内容を覚えている。しかし、速すぎたり遅すぎたりして自然とは言い難いスピードで発話されている。【意欲あるが能力磨きに改善の余地あり】</p>
3	<p>◆訪れたい国の名前、場所、具体的特徴、見どころなど必要な情報は一般的なものも含めて表現されている。◆声が教室の後ろまで届くが、内容を伝えようとする意志はあまり感じられない。◆ポスターからは名前と場所とおおまかな特徴が読み取れるが、見やすさや興味をひきつけようとするための工夫や意志が見られない。◆大半は内容を覚えているが、多少のミス、いい直し、間を含む。【意欲不足。持っていた能力は発揮】</p>
2	<p>◆訪れたい国の名前、場所は分かるが、具体特徴や見どころの情報が乏しい。◆声が教室の後ろまでかろうじて届くが、発表に集中できずふざけてしまう。◆ポスターからは名前とそれ以外の特徴が何か1つは読み取れるが、発表を補助できる内容ではない。◆最後まで終えることはできるが、ミスや抜け、不自然な間が多すぎる。【意欲不足。関心不足で能力も発揮されていない】</p>
1	<p>◆訪れたい国の名前と場所が分かるのみ。◆声が小さく教室後方まで聞こえない。◆ポスターには名前のみ。◆不自然な間が多過ぎ、半分程度しか覚えておらず発表を最後まで終えることが困難。【取り組む意欲関心なし】</p>